

2013 年元旦

年頭ご挨拶

“真・まこと”こそが新たな道を切り開く

一般社団法人日本オーディオ協会会長

校條 亮治

皆さま、明けましておめでとうございます。月日の経つのは早いもので東日本大震災から二回目の新年を迎えました。まだ仮住まいの方も多く、心からお見舞いを申し上げます。昨年は一昨年に劣らず、多くの出来事がありました。地球上の営みや仕組みが大きく歪んでいると言わざるを得ません。人間の存在など自然の中では微々たるものですが、その人間の尊大で傲慢過ぎることへの警告に目を凝らし、耳を研ぎ澄ます必要があるのではと思います。昨年は協会にとって記念すべき、創立 60 周年、CD 発売 30 周年と云うエポックメイキングな年でした。式典開催と記念誌や記念 CD 発行、貢献者への顕彰などの記念事業を滞りなく済ますことができ、皆様のお蔭と厚く御礼を申し上げます。

さて、今年の抱負ですが、“真・まこと”を考へる基本に臨みたいと思っています。“真”を広辞苑で引けば「事実のとおりであること、嘘でないこと」とあります。また能楽の「真の花」では「鍛練と工夫とを見極めて得た真の花の面白さ」と風姿花伝が伝えています。音楽・オーディオの世界において本物志向である、この“真・まこと”こそが明日の世界を切り開く力と確信し、進む所存です。私は勿論のこと、皆さまにも“真・まこと”の言葉を年の初めにお贈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。